

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（しりべしいぶり） 後志胆振森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 しりべし 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央から南西部に位置する、登別市を含む3市10町4村に所在する国有林約130千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約12%にあたる約16千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割となっている。さらに今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>この地域は、岩内、倶知安、室蘭、黒松内の4地域により構成されている。</p> <p>岩内地域は、ポンネアンチン山（1,145m）を最高峰とする積丹半島脊梁山稜の南西部に位置する森林と、ニセコアンヌプリから雷電峠まで続くニセコ火山群、雷電火山群に連なる峰に形成されている森林に分かれている。積丹半島側の流域については、河川長が短い上、急流のまま海岸に注いでいることから、上流部にある国有林野は、道路、住宅の生活域及び沿岸水域の保全のため、土砂の崩壊等を防ぐ山地保全や水源涵養の役割が求められている。</p> <p>倶知安地域は、三角山から無意根山、中山峠等（共和町と倶知安町との境界から喜茂別町と伊達市との境界まで）に続く山稜に位置する森林と、貫気別岳周辺等の森林に分かれている。これらの森林については、中心的河川である尻別川の集水域となっており、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。</p> <p>室蘭地域は、中山峠から美笛峠、ホロホロ山、オロフレ山までの山稜、また、それから分かれた鷲別岳及び登別温泉に続く山稜に位置する森林と、有珠山及び洞爺湖周辺等の森林に分かれている。美笛峠等の山稜側の森林については、長流川、登別川及び胆振幌別川等の集水域となっており、地域の水源地として水源涵養の役割が求められている。</p> <p>有珠山周辺の森林については、火山灰が厚く堆積して泥流等の発生する危険度が高く、土砂の流出等を防ぐ山地保全の役割が果たされることも期待されている。</p> <p>黒松内地域における折川、大平川等の集水域となっている森林や海岸線沿いの森林については、複雑に入り組んだ地形等にあることから、土砂の流出・崩壊を防ぐ山地保全の役割を果たすことが期待されている。</p> <p>本森林計画区内の産業としては、野菜、果樹、水稻、畜産などの農業が盛んである。また、日本海側ではホッケ等が主要生産魚種となっている漁業も行われており、これらの繁栄に繋がる適切な森林の管理経営が求められている。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p>		
	主な事業内容	森林整備	更新面積 540 ha 保育面積 6,267 ha
		路網整備	開設延長 38.4 km 改良延長 0.5 km
	総事業費		2,982,462 千円

費用便益分析	総 便 益 (B)	10,986,974 千円
	総 費 用 (C)	4,081,142 千円
	分析結果 (B/C)	2.69
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本地域は、大半が保安林に指定されており、地域の水源地として、また、地域の基幹産業である農業や沿岸漁業が盛んな日本海の漁場の保全等に資する観点から、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。また、火山や急峻な地形が多いことから、山地保全の役割が求められている地域であり、更には、地球温暖化防止対策や国土保全に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用便益分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 本事業により、森林が健全な状態に維持され、水源涵養、国土保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮が期待される。また、効率的な森林整備により、地域の基幹産業である農業や漁業の振興にも資することから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>	

## 別紙様式7

整理番号3

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 後志森林管理署

事業実施地区名: 後志胆振森林計画区(しりべしいぶり)

(都道府県名: 北海道)

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	1,412,862	
	流域貯水便益	856,066	
	水質浄化便益	1,795,604	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,618,016	
環境保全便益	炭素固定便益	744,629	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	446,189	
	木材利用増進便益	1,110,307	
	木材生産確保・増進便益	570,813	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	17,499	
	森林整備促進便益	414,989	
総 便 益 (B)		10,986,974	
総 費 用 (C)		4,081,142	
費用便益比	B ÷ C =		2.69

# 後志胆振森林計画区の位置図



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
振 興 局 界	
森 林 管 理 署	

